

(平成29年6月作成)

事務事業評価シート

(H.29)No. 4022-2 (H.28)No. 4022-2

事務事業名	社会資本整備総合交付金事業(道路新設改良)(道路河川室分)		
担当部局名	担当室名	室長名	
都市整備部	道路河川室	小川 光	

会計区分	事業コード
一般会計	392003
款 土木費	(中事業名)※予算書事業名
項 道路橋梁費	(小事業名)
目 道路新設改良費	社会資本整備総合交付金事業(道路新設改良)

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政 策	2 美しい自然に包まれ快適に暮らせるまち
	基本施策	5 快適な生活環境づくり
	施 策	2 道路整備
重点プロジェクト		

2. 事務事業の概要

事業目的(めざす効果)
観光ルートや生活道路として重要な役割を担う各路線を整備することにより、交通利便性の向上を図り、円滑で安全な通行を確保します。
事業内容
国の社会資本整備総合交付金制度を活用し、既存道路の利便性・安全性向上を図るため、計画的に道路整備を実施します。

3. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	H.28年度(事業量・取組実績)	H.29年度(事業量・取組計画)	H.30年度(事業計画)	H.31年度(事業計画)	H.32年度(事業計画)
主な事業の実績・計画	<H27繰越分> 市道改良(4路線) 90,140千円 ・工事 L=540m 橋梁工事 <H28現年分> 市道改良(3路線) 64,879千円 ・工事 L=620m	<H28繰越分> 市道改良(2路線) 22,178千円 ・工事 <H29現年分> 市道改良(4路線) 178,568千円 ・工事 L=440m	市道改良(4路線) 62,850千円 ・工事 L=180m	市道改良(3路線) 128,000千円 ・工事 L=250m ・委託(近鉄交差詳細設計)	市道改良(3路線) 1,119,850千円 ・工事 L=70m 近鉄交差

	H.28年度(決算見込)		H.29年度(作成時予算額)		H.30年度(計画予算)	H.31年度(計画予算)	H.32年度(計画予算)
	H.27繰越分	H.28現年分	H.28繰越分	H.29現年分			
①直接事業費	90,140千円	64,879千円	22,178千円	178,568千円	62,850千円	128,000千円	1,119,850千円
内訳(千円)							
国・県支出金	49,570	35,679	12,192	98,175	34,567	70,400	615,917
地方債	40,500	29,200	9,900	80,300	28,200	57,600	503,900
その他()							
一般財源	70	0	86	93	83	0	33
人工数							
職員		1.43人	0.42人	0.52人	0.94人	0.94人	0.94人
臨時職員等							
②概算人件費	0千円	10,725千円	3,150千円	3,900千円	7,050千円	7,050千円	7,050千円
①+②総事業費	90,140千円	75,604千円	25,328千円	182,468千円	69,900千円	135,050千円	1,126,900千円

4. 担当室による事務事業の点検

考察(H.28年度(取組評価、課題、施策への貢献、市民との協働など)
道路事業予算の減少により、事業の長期化が顕著となっていることから、柔軟な整備手法の導入による事業推進の検討や協議が必要となっています。事業計画に基づき一定の効果が現れる事業に取り組みました。関係する組織や団体との連携により、引き続き安全な交通環境を確保するため、整備計画道路の改良を推進します。

5. 今後の方向性(担当室による内部評価)

【選択肢】 継続(改善)、継続(現行)、継続(拡大)、継続(縮小)、統合検討、休止検討、廃止検討、事業完了(予定含む)	継続(現行)
今後の対応方針(課題解決への取組内容、具体的な見直し内容、継続の理由等)	6. 事務事業の取組に関する市の計画
社会資本整備総合交付金など、国の補助制度の活用により、計画道路の整備に取り組みます。柔軟な整備手法について検討及び協議を行い、引き続き計画道路の整備を推進します。	